様式③

提出日 2021 年 1 月 22 日

2020 年度 琉球弧研究支援 報告書

研究テーマ「琉球舞踊と組踊の認知度に関する調査研究」

氏名：金城佐樹、金城ゆめの、幸田琉南

所属学部学科：経法商学部経法商学科

I. 初めに

私たちが住む沖縄県にはエイサーや琉球舞踊、組踊、三線などをはじめとした伝統芸能が数多く存在する。ところが、それぞれの伝統芸能によって、知名度や感じ方に大きな差があるのではないだろうか？エイサーの歴史や演目をどのくらい知っているのだろうか？組踊の歴史や演目をどのくらい知っているのだろうか？これらの疑問をアンケート調査で調べることにした。

II. 研究の目的、動機

踊りという分野で代表的な琉球舞踊と組踊、この2つについて沖縄県が観光客に行ったアンケートによると認知度や理解度に大きな差が存在した。その結果を見た際にこの差はどのようにして生まれているのか、どの様にすれば埋めることができるのかという疑問を持ち、琉球舞踊並びに組踊が、今後発展していくためにはどのようなアプローチをしていくべきなのかを考えていくべきだと思い、研究のテーマとした。

III. 研究方法、地域、期間

2020 年 12 月、沖縄大学経法商学部経法商学科の1年生から4年生、70名を対象としたアンケート調査により、琉球舞踊や組踊に関する現在の大学生の実態や意識を調査し（琉舞と組踊に関するアンケート調査）、傾向を分析した。

IV. 結果

調査結果は以下の通りである。

1. あなたの年齢について教えてください。

18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	その他	総数
13名	39名	4名	10名		1名	1名	68名
19.1%	57.4%	5.9%	14.7%	0%	1.5%	1.5%	100.0%

2. あなたの出身地について教えてください。

沖縄本島北部	5	6.4%
沖縄本島中部	22	28.2%
沖縄本島南部（那覇市含む）	47	60.3%
宮古島	1	1.3%
石垣島	1	1.3%
奄美大島	0	0%
その他の県内の離島	0	0%
県外（奄美群島を除く）	1	1.3%
国外	1	1.3%
計	78	100.0%

3. あなたが経験したことのある沖縄の伝統芸能について教えてください。

エイサー	66	54.0%
旗頭	13	10.7%
琉球舞踊	3	2.5%
組踊	2	1.6%
現代版組踊	2	1.6%
沖縄芝居	1	0.8%
クイチャー	0	0%
獅子舞	2	1.6%
棒踊り	4	3.3%
三線	26	21.3%
その他	3	2.5%
計	122	100.0%

4. 小中高の学校教育の中で、琉舞や組踊について学ぶ機会がありましたか。（複数回答可）

〈琉舞〉

	小学校	中学校	高校
① 毎年鑑賞した	10 (14.1%)	9(12.0%)	7(11.1%)
② 鑑賞したことがある	30(42.3%)	29(38.7%)	13(20.6%)
③ 歴史を学んだ	6(8.5%)	10(13.3%)	11(17.5%)
④ 全くなかった	25(35.2%)	27(36.0%)	32(50.8%)
計	71	75	63

〈組踊〉

	小学校	中学校	高校
① 毎年鑑賞した	7(9.1%)	6(8.3%)	5(5.6%)
② 鑑賞したことがある	32(41.6%)	26(36.1%)	28(31.5%)
③ 歴史を学んだ	8 (10.4%)	12(16.7%)	23(25.8%)
④ 全くなかった	30(39.0%)	28(38.9%)	33(37.1%)
計	77	72	89

5. 小中高の学校教育の中で、琉舞や組踊について学ぶ機会を作ったほうが良いと思いますか。

	琉舞	組踊
① 毎年鑑賞を行う	15(18.1%)	15(19.0%)
② 一度は鑑賞をする	48(57.8%)	45(57.0%)
③ 歴史や背景も学ぶ	16(19.3%)	15(19.0%)
④ 必要ない	4(4.8%)	4(5.0%)
計	83	79

6. あなたはどの程度琉舞や組踊について知っていますか？

	琉舞	組踊
① よく知っている	3(3.7%)	2(2.5%)
② 少し知っている	15(18.5%)	14(17.5%)

③ あまり知らない	43(53.1%)	46(57.5%)
④ 全く知らない	16(19.8%)	15(18.8%)
⑤ わからない	4(5.0%)	3(3.8%)
計	81	80

7. あなたは琉舞・組踊をどのように知りましたか？

	琉舞	組踊
① 学校	43(44.3%)	49(53.8%)
② 友人・知人の紹介	10(10.3%)	5(5.5%)
③ 親・兄弟姉妹・親戚など	11(11.3%)	8(8.8%)
④ 芸能イベント	4(4.1%)	4(4.4%)
⑤ 新聞・テレビなどのメディア	16(16.5%)	14(15.4%)
⑥ 地域イベント	12(12.4%)	10(11.0%)
⑦ その他	1(1.0%)	1(1.1%)
計	97	91

8. あなたはこれまで何回琉舞・組踊を鑑賞したことがありますか？

	琉舞	組踊
① 0回	12(15.4%)	12(15.6%)
② 1～3回	45(57.7%)	47(61.0%)
③ 4～6回	12(15.4%)	12(15.6%)
④ 7～9回	1(1.3%)	1(1.3%)
⑤ 10回以上	8(10.3%)	5(6.5%)
計	78	77

9. あなたは琉舞・組踊をどこで鑑賞したことがありますか？（複数回答可）

	琉舞	組踊
① ホール	18(19.8%)	21(24.1%)
② 学校	43(47.3%)	44(50.6%)
③ 公民館	6(6.6%)	4(4.6%)
④ 国立劇場	9(9.9%)	7(8.0%)

⑤ 結婚式場	8(8.8%)	4(4.6%)
⑥ その他	7(7.7%)	7(8.0%)
計	91	87

10. あなたは琉舞・組踊についてどのような印象を持っていますか？（複数回答可）？

	琉舞	組踊
① 歴史や文化が学べる	35(24.3%)	36(26.2%)
② 華やかなイメージ	32(22.2%)	27(19.7%)
③ 演目が面白い	8(5.6%)	8(5.8%)
④ 伝統的な芸能	40(27.8%)	40(29.1%)
⑤ 親近感がある	1(0.7%)	0(0%)
⑥ 入場料が高い	1(0.7%)	2(1.5%)
⑦ 鑑賞する機会に恵まれない	7(4.9%)	5(3.6%)
⑧ 敷居が高い	5(3.5%)	5(3.6%)
⑨ 内容がわかりにくい	7(4.9%)	6(4.4%)
⑩ 親近感がない	7(4.9%)	8(5.8%)
⑪ その他	1(0.7%)	0(0%)
計	144	137

11. 琉舞・組踊をどのようなところで鑑賞したいと思いますか。

	琉舞	組踊
① アクセスがよい	9(8.1%)	10(10.6%)
② 雰囲気がよい	24(21.6%)	20(21.3%)
③ 歴史のある場所	29(26.1%)	26(27.7%)
④ 国立劇場などの劇場・ホール	28(25.2%)	27(28.7%)
⑤ ショッピングセンターなどの公共施設	4(3.6%)	3(3.2%)
⑥ どこでも構わない	17(15.3%)	8(8.5%)
⑦ その他	0(0%)	0(0%)
計	111	94

12. 鑑賞したいと思うような有効な取り組みを選んでください

	琉舞	組踊
① 学生無料招待券・割引券の配布	32(28.3%)	37(34.6%)
② 上演前後の物語解説	18(15.9%)	18(16.8%)
③ SNSでのPR	11(9.7%)	11(10.3%)
④ テレビやyoutubeなどの映像配信	6(5.3%)	3(2.8%)
⑤ 上演機会を増やす	10(8.8%)	10(9.3%)
⑥ 学校教育での活用	27(23.9%)	17(15.9%)
⑦ 現代的なアレンジを施す	8(7.1%)	10(9.3%)
⑧ その他	1(0.9%)	1(0.9%)
計	113	107

13. 現在の琉舞・組踊鑑賞は3000円以上の場合が多いようですが、学生料金の場合、あなたはチケットがどのくらいの料金だと購入しますか？

	琉舞	組踊
① 無料	14(15.6%)	15(17.6%)
② 100円～500円	12(13.3%)	12(14.1%)
③ 600円～1000円	42(46.7%)	40(47.1%)
④ 1000円～3000円	21(23.3%)	17(20.0%)
⑤ 3000円以上	0(0%)	0(0%)
⑥ 鑑賞しない	1(1.1%)	1(1.2%)
計	90	85

14. あなたは、琉舞・組踊を習ったことがありますか（現在も含む）？

	琉舞	組踊
① 以前習っていた	6(10.7%)	1(2.0%)
② 現在も続けている	1(1.8%)	0(0%)

③ 習いたいと思っている	49(87.5%)	49(98.0%)
計	56	50

【14番の質問で「習っていた・続けている」と回答した方にお尋ねします】

15. あなたが琉舞・組踊を習い始めたきっかけは何ですか？（琉舞・組踊経験者）

	琉舞	組踊
① 家族の影響	1(9.1%)	0(0%)
② 地域・小中などのコミュニティ	9(81.8%)	5(83.3%)
③ 自分自身の興味	1(9.1%)	1(16.7%)
④ その他	0(0%)	0(0%)
計	11	6

【14番の質問で「習っていた」と回答した方にお尋ねします】

16. あなたが琉舞・組踊を辞めた理由は何ですか？

	琉舞	組踊
① 家族の影響	1(12.5%)	0(0%)
② 経済的理由	2(25.0%)	1(20.0%)
③ 勉強との両立	2(25.0%)	1(20.0%)
④ 部活との両立	2(25.0%)	2(40.0%)
⑤ その他	1(12.5%)	1(20.0%)
計	8	5

17. 琉舞・組踊が継承されるために必要なことについて教えてください（複数回答可）。

	琉舞	組踊
① 人材育成	43(25.0%)	44(25.9%)
② 研究所の経済的支援	15(8.7%)	15(8.8%)
③ プロの演者への経済的保障	19(11.0%)	19(11.2%)
④ 定期的な上演の機会づ	27(15.7%)	25(14.7%)

くり		
⑤ 教育現場における演者との交流	18(10.5%)	18(10.6%)
⑥ 歴史を小中学校で学ぶ	36(20.9%)	39(22.9%)
⑦ 小中学校での体験ワークショップ	13(7.6%)	10(5.9%)
⑧ その他	1(0.6%)	0(0%)
計	172	170

琉舞や組踊についてご意見を自由にお書き下さい。

- ・素晴らしい文化だと思う。
- ・いまいち琉舞と組踊の違いが分からない。もっと、背景など学習してもいいと思う。
- ・どちらもあまり知らない事が多いので、これを機に少し調べようと思った。
- ・沖縄の伝統を継ぐすばらしいものだと思う。内容やテーマがわかればもっとおもしろいとおもう。
- ・学校などのイベントなどで鑑賞することが多いのでそこで体験などを同時に行えばより効率的に興味をよせると思います。若い層の方が良いと思うので小学校などでやると良いと思います。
- ・大切な伝統芸能です。永遠に継承されていることを祈ります。県がもっと力を入れ、保存・発展させていく努力が必要。
- ・沖縄の文化を知れていいと思う。
- ・沖縄の伝統をこれからも伝え続けていくことは大事だと思う。
- ・組踊の方がよく取り上げられているイメージがする。同じくらい取り上げられても良いと思う。
- ・とても、カッコいいと思います。三線はとくにやってみたいです。
- ・現在、娯楽があふれていることや、古い伝統はあまりスポットライトが当てられないため、まずは現代風にアレンジし、知名度を上げることから始めたら良いと思う(和楽器)
- ・伝統を受け継いでいてすごい。なくしてはダメだと思う。
- ・伝統的な芸能だと思うので、伝えていく必要があると思います。
- ・踊れる人はカッコいいと思います。
- ・少しばかり踊りたくなるような気持ちになりました。
- ・もっとみやすいようなPRをしてほしい。
- ・学校現場で見る機会を増やした方が良い。安くした方が良い。
- ・沖縄の伝統的な芸能をもっと若い人達に伝えていくべきだと思う。
- ・難しい。

・琉舞や組踊を先生達から、プリントや教科書で学ぶよりも、実際に生で鑑賞した方が、楽しみながらも歴史を学べると思うので、学校で、琉舞や組踊を観に行く機会がたくさんあると、琉舞や組踊に興味を持つ子が増えていくんじゃないかなと思いました。

・小学校の時に鑑賞した際、あまり理解できないまま見てたので、解説付きのパンフレットかなにかあれば、よりわかりやすくなるかなーと思った。

・私はよく、結婚式で“かぎやでふう”を踊ります。物心ついた時には、すでに祖母から“かぎやでふう”を覚えなさいと言われていた。

V. 考察、分析

沖縄の伝統芸能である琉球舞踊と組踊について、認知度の差とその原因を調査し、その結果から今後の沖縄の伝統芸能の継承と発展を考えることがこの研究の目的だ。

そこで、沖縄県に住む若い世代(大学生)を対象に意識調査をしたところ、沖縄県内の若者にとっては、琉球舞踊と組踊について認知度の差というのはほとんど見られないことがわかった(沖縄県が観光客を対象に実施したアンケートでは、県外の人には琉球舞踊と組踊の認知度に差があることがわかっている)。そのため、沖縄の伝統芸能の継承と発展について考える際、琉球舞踊と組踊とも同じように考えることとする。

アンケート調査の結果、以下のことがわかった。

- 1 若者の中で琉球舞踊と組踊の経験者は少ないが、若者の多くは未経験者でも琉球舞踊・組踊に興味・関心があり、習ってみたいと考えている若者が多い。(地域のコミュニティなど身近な場でやりたいという意見が多かった。)
- 2 若者が琉球舞踊・組踊に触れる機会は、ほとんど学校(小・中・高)しかない。(鑑賞経験はあってもそれについてあまり知らないという人が多い。)
- 3 鑑賞経験がある人は、ない人に比べて鑑賞の費用を高めに出してもいいと考えている。(鑑賞経験がその価値を知る機会になる。)
- 4 鑑賞する場所は、アクセスの良さや手軽さよりも雰囲気の良い場所や歴史のある場所で鑑賞したいと考える人が多い。
- 5 鑑賞したいと思えるような有効な取り組みについては、学生無料招待券、割引券の配布・上演前後の物語解説・学校教育での活用が多くあげられた。(若者には SNS・テレビ・youtube での PR や映像配信が有効ではないか、という私達の当初の予想とは違った。)
- 6 伝統芸能の鑑賞経験には地域差や個人差があり、教育現場での経験が興味・関心の有無に影響している。
- 7 歴史や背景などを知りたい、という意見もある。

以上のことから、若者は伝統芸能に興味がないというイメージとは違い、伝統芸能(琉球舞踊・組踊)は継承していくべきだと考えている若者が多いことや、私たちの仮説と異なり、時代のニーズに合わせて気軽に鑑賞できる場を設けたり、内容に現代的なアレンジを加えたりするよりも、伝統を楽しみたいという意見が多いこともわかった。また、

習ってみたいという意見や伝統芸能(琉球舞踊・組踊)に対し学習意欲がある人も多いことと鑑賞の機会が小・中・高の学校教育の一部にしかないことから、伝統芸能に興味関心のある若者は多いが、伝統芸能に触れる入り口がないだけだとわかった。

VI. 今後の展望. 終わりに

考察・分析の結果から、伝統芸能(琉球舞踊・組踊)の発展には、若者が伝統に触れる機会・入口を積極的に作っていく必要があると考える。1000 円以内で鑑賞できる招待券・割引券の配布、上演前後の物語解説の充実、歴史や背景を学ぶ場の充実、地域コミュニティでの取り組み、学校教育の中で伝統芸能に触れる機会を増やすなど、若者が伝統芸能に触れる機会を増やしていくことが、今後の伝統芸能の継承・発展に繋がっていくかもしれない。

VIII. 参考文献、調査協力

琉球新報社、2016 年、『沖縄県民意識調査報告書』。

調査にご協力していただいた皆様、ありがとうございました。

IX. 指導教員コメント

本調査研究は、琉球舞踊と組踊に関する大学生を対象とした実態・意識アンケート調査を通して、琉球舞踊や組踊への大学生の関心度の高さとともに、伝統芸能を身近に感じることのできる「入口」に課題と可能性があることを具体的に明らかにした。データは限られるものの、芸術や芸能と無関係の学科に所属する若者の傾向の一部を多角的に明らかにした意義は大きいと思われる。

。